降誕前第1主日・アドヴェント第4主日/クリスマス礼拝/聖餐式

No. 52

主日礼拝

2023年12月24日午前10時30分

前奏 「飼い葉おけにすやすやと(讃 21:269)」 (D.ウッド)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」(ヨハネによる福音書3:16)

点火 242「主を待ち望むアドヴェント」



- 1 宝を持ちのぞむアドヴェント、 さいしょのろうそく ともそう。 宝が道をそなえられた この時をまもろう。 宝の民よ、よろこべ。宝は近い。
- 2 主を持ちのぞむアドヴェント、 第二のろうそく ともそう。 主がなされたそのように、 たがいに助けよう。 主の罠よ、よろこべ。主は近い。
- 3 主を持ちのぞむアドヴェント、 第三のろうそく ともそう。 主のめぐみ てりかがやき、 暗やみをてらす。 主の覧よ、よろこべ。主は近い。
- 4 主を待ちのぞむアドヴェント、 さいごのろうそく ともそう。 主はこの世に来たりたもう。 心こめ、歌おう。 当の罠よ、よろこべ。主は近い。

リタニー「信じて生きる」

(「教師の友」2023年10,11,12月)

司式者: すべての人々のために救い主が来られる。

会 衆:わたしたちのために救い主が来られた。

司式者:響きわたる天使たちの賛美が、喜びを知らせた。

会 衆: 賛美して救い主イエスさまを迎えよう。 司式者:暗い世に生まれたイエスさまは希望の光

会 衆:すべての人々を救うため平和が訪れた。

司式者:愛と希望と平和のしるし

会 衆:飼い葉おけに眠るイエスさまに会いにいこう。

一緒に: わたしたちのために、

今日救い主がお生まれになった。

祈祷

金額

主の祈り

天にまします我らの父よ、 ねがわくは み名をあがめさせたまえ。 み国を来らせたまえ。 みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。 我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。 我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、 我らの罪をもゆるしたまえ。 我らをこころみにあわせず、 悪より救い出したまえ。 国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。 アーメン。

賛美 32「キリエ・エレイソン」



キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン **よ、あわれみを 主よ、あわれみを 主よ、あわれみを

聖書 ルカによる福音書 2:8~20

新約(新共同訳) p103

8 その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。9 すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。10 天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。11 今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。12 あなたがたは、布にくるまって飼い葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」13 すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。

14「いと高きところには栄光、神にあれ、

地には平和、御心に適う人にあれ。」

15 天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話し合った。16 そして急いで行って、マリアとヨセフ、また飼い葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。17 その光景を見て、羊飼いたちは、この幼子について天使が話してくれたことを人々に知らせた。18 聞いた者は皆、羊飼いたちの話を不思

議に思った。19 しかし、マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた。20 羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて天使の話したとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。

賛美 263「あら野のはてに」



- あら野のはてに タロは落ちて、 たえなるしらべ 党よりひびく。
 グロリア インエクセルシスデオ、 グロリア インエクセルシスデオ。
- 2 ひつじをまもる 野べのまきびと、 あめなるうたを よろこびききぬ。 グロリア インエクセルシスデオ、 グロリア インエクセルシスデオ。
- 3 みうたをききて ひつじかいらは、 まぶねにふせる 御子をおがみぬ。 グロリア インエクセルシスデオ、 グロリア インエクセルシスデオ。
- 4 今日しも御予は うまれたまいぬ。 世界の民よ、よろこびうたえ。 グロリア インエクセルシスデオ、 グロリア インエクセルシスデオ。

説教 「飼い葉桶の中のしるし」

聖歌隊 「地には平和」 指揮: 玉理 照子

聖餐式

賛美 81-1「主の食卓を囲み」



1 主の食卓を囲み、いのちのパンをいただき、 教いのさかずきを飲み、主にあってわれらはひとつ。 マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。 マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。

賛美 271 「喜びはむねに」



派遣

司式者 主は言われます。

「わたしは誰を遣わすべきか。」

会 衆 わたしがここにおります。 わたしを遣わして下さい。

祝祷



後奏 「あらののはてに(讃 21:263)」 (M.キム)

司 式要田悟史説 教向井希夫牧師奏 楽福原之織聖歌隊指揮玉理照子助 餐泉、袁、大代

※お立ちになるのが困難な方は、

座ったままで礼拝をお守り下さい。